

浪江町に国営復興祈念公園の 建設を求める要望書

福島県知事 内堀雅雄様

平成26年12月26日

福島県双葉郡
浪江町議会議長 小黒敬三

浪江町に国営復興祈念公園の建設を求め める要望

福島県は東日本大震災において大地震と津波に加え、東電福島第一原発事故という過去に経験のない大災害に苦しんでいる状況です。

今、県と国において犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とした、復興の象徴となる森や丘等（復興祈念公園）を整備するための基本構想の作成に向けた検討・調査を実施するとしております。

追悼施設を含む復興祈念公園は犠牲者の霊はもとより、被災の記憶と教訓を長くそして広く国内外に伝えるための施設です。

特に浪江町では15メートルを超える大津波で82隻の漁船が流出し、津波の人的被害が182名にのぼっており、犠牲になられた方々の追悼と鎮魂のため、また今次災害を後世に伝承していくことは被災地に課せられた使命と考えております。

町復興計画の基本方針においても、「被災経験を次代や日本に生かす」ということを掲げ、津波被災地区へ復興祈念公園の整備検討も必要としております。

特に浪江町は常磐自動車道や国道6号、国道114号などの結節点として交通の要所でもあり、また、双葉郡北部の復興拠点として重要な位置を占めております。

よって、復興祈念公園の建設地として浪江町を選定されるよう強く要望致します。

記

- 1 震災の風化が懸念される状況の中、大津波による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝え、浪江町の再生に向けた復興への強い意志を全国民や世界の人々に向け明確に発信していくために、浪江町に国営復興祈念公園の整備を要望致します。